

2015 年度 審判交流プログラム実施報告

2015 年 11 月 20 日～23 日の 4 日間、審判委員会では「審判交流プログラム 2015」を行いました。これは、山形県サッカー協会と海外の香港サッカー審判協会、そして東京都サッカー協会審判委員会が毎年行っている研修会で、24 回目となる今年は香港での開催となりました。東京からは菊地秀夫委員をはじめ、10 人の審判員・審判インストラクターが参加し、総勢で 60 人にも上る規模の事業です。

参加者は初日に行われた「Refereeing Workshop」では、香港と東京で持ち寄ったビデオクリップを使い、元国際審判員で元アジアサッカー連盟審判インストラクターの Samuel Chan 氏（香港）や、菊地委員（元国際審判員、1 級審判インストラクター）による指導の下、判定やポジショニングなどの検証・意見交換を活発に行いました。英語でのレクチャーも、参加者にとっては大変貴重な研修となりました。



2 日目には参加チーム同士（東京は山形と合同チームにて参加）での親善試合が行われ、これを利用した審判実技研修を行いました。前後半で審判員を分けて行われたこの研修では東京から新 2 級審判員の諸星龍太郎さんが主審に割当てられ、香港の副審・第 4 審判員と共に前半の審判を務めました。諸星さんは「英語でのコミュニケーションに苦労した」とのことですが、試合前の打合わせ、4 人揃ったウォーミングアップ、そして試合運営と、持っている力を十分に発揮し、無事に前半のゲームコントロールを終えました。

この大会は審判員同士が行う日本では初めての交流会としてスタートし、審判技術・知識の向上はもちろんのこと、語学、コミュニケーション力、国際感覚を身に付けるための価値のある、また大変伝統がある事業です。

来年のホストは東京であり、しっかりと伝統を継承したいと思います。

